

火の取り扱いにご注意を

テレビやラジオの天気予報で、「乾燥による火の取り扱いに注意してください。」という呼びかけを聞いたことのある方は多いのではないのでしょうか。

春は「乾燥」の季節であり、下の表には、日最小湿度の年間を通しての上位5位を示していますが、網走、紋別、雄武、いずれも4月から5月にかけて観測されていることが分かります。日最小湿度とは、一日の中で最も低い湿度のことをいいます。

北海道の統計※によると、平成26年から令和5年の10年間に発生した林野火災は261件で、そのうち4月は124件、5月は77件であり、4、5月で全体の7割を超えています。そして、出火原因はごみ焼が93件、たばこ・マッチが11件で、全体の4割近くになります。

気象台から火の取り扱いの注意を呼びかける情報として、「乾燥注意報」があります。この情報は、空気の乾燥により、火災発生のおそれがあると予想したときに発表する注意報です。網走・北見・紋別地方の発表基準は、最小湿度が30パーセント以下かつ実効湿度が60パーセント以下の場合に発表します。実効湿度とは、木材の乾燥の程度を表す指標で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算します。

山菜取りや散策など山に入る時や、たき火など火の取り扱いには、十分注意するよう心掛けましょう。

日最小相対湿度(%)	1位	2位	3位	4位	5位	統計期間
網走地方気象台	9	9	9	9	10	1950/1/1
	(2022/5/6)	(2021/5/7)	(2021/4/12)	(2008/4/21)	(2023/5/26)	2025/1/1
紋別特別地域気象観測所	7	8	8	9	10	1956/1/1
	(2009/5/7)	(2022/5/6)	(1957/5/4)	(2009/5/9)	(2023/4/25)	2025/1/1
雄武特別地域気象観測所	9	10	10	11	11	1950/1/1
	(2022/5/11)	(2023/4/25)	(1966/5/28)	(2022/5/6)	(1973/5/7)	2025/1/1

※ 北海道のオープンデータを利用しています。

問い合わせ先 網走地方気象台 (電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



気象庁ホームページ
「警報・注意報」はこちらから